

平塚市の真正クモ類

1. リストおよび分布

平塚クモの会*

1. はじめに

平塚市およびその周辺地域の真正クモ類の調査事例としては、1977年前後に加藤輝代子、新海栄一氏らが行った平塚市大原の農林省果樹試験場(当時)構内での調査、1981~82年に神奈川県文化財保護課が委託し、新海栄一、熊田憲一氏が行った大磯町高麗山での調査があるが、いずれも正式の発表はなされていない。また、県立平塚江南高校生物部では、1973年から、平塚市内の真正クモ類相の調査に取り組んできたが、全域のリスト作成にはいたっていない。このように、平塚市付近の真正クモ類については、分布の実態が十分解明されていない現状であった。

筆者らは、平塚市博物館の協力をえて「平塚市及びその周辺部に生息するクモ類を調査し、そのリストおよび分布図を作成して地域自然の資料とする」ことを目的とし、江南高校生物部員およびその卒業生を中心として「平塚クモの会」を結成した。会では、1983年9月から毎月1回の採集会を開くことにし調査をスタートさせた。1984年4月からは県立小田原城内高校生物部員等も加わり、調査参加者は20名を越える規模となった。また1985年には、東京蜘蛛談話会の定例採集会が数回にわたって高麗山で開かれたので、調査の一環としてこれにも参加した。

本報告では、これらの調査に基づき、平塚市の真正クモ類についての第一報として、採集された種のリストをまとめた。各種についての生態上の知見や、地区によるクモ類相の比較などについては、今後、順次発表していく予定である。

調査に参加した本会会員は、青木聡志、青木誠、青野和子、天野智枝、池田博明、磯部達男、稲葉茂代、井上美樹、植田恭子、及川美和、大倉健一、大倉潤一郎、大野悟、岡部由美子、小沢俊夫、加藤剛、加藤礼子、川崎博孝、日下清文、佐藤圭、佐藤伸一、佐藤信恵、佐野裕彦、佐保田浩、沢田典子、渋谷暁子、杉崎るり、高橋祐子、丹野信吾、露木孝子、中戸川知頼、中村衣里、西川敦人、星崎礼子、宮保岳史、山口貴生、與野雅洋、渡辺秀子ののべ38名である。また資料と情報の整理原稿の執筆については、池田博明、大野悟、日下清文、佐藤伸一、佐保田浩の5名が中心となっており、本稿の文責はこの5名にある。

今回の目録作成については、種名に正確を期するため、東亜蜘蛛学会の新海栄一氏に標本の同定をお願いした。同氏は、採集会にも度々参加して下さり、調査方法などについても、貴重な指導助言をいただくことができた。紙面を借りて、厚く御礼申し上げる次第である。また、東京蜘蛛談話

*平塚市千石河岸5-21 大野悟方

キーワード：平塚の自然、ファウナ、真正クモ類

会の会員諸氏には、採集会を通じて助言をいただき、資料も提供していただいた。平塚市博物館の浜口哲一氏には、会の運営に御尽力いただくとともに、本稿の発表の機会を与えていただいた。これらの方々にも、合わせて御礼申し上げたい。

2. 調査地と調査方法

平塚市は神奈川県中央南部に位置し、相模湾に面した、面積約68 Km²、人口約23万人の中都市である。本調査では、平塚市の市域に、東海道新幹線以南の相模川両岸の河川敷（一部が寒川町、茅ヶ崎市）と大磯町高麗山を含めた範囲を対象地域とした。調査地域は行政区画および地形によって、A：土屋・吉沢、B：金目、C：旭（万田・公所・出縄他）、D：岡崎・城島、E：大神（大神・田村他）、F：金田・豊田、G：大野（南原・八幡・中原・四之宮他）、H：旧市内（諏訪町・浅間町・大原・千石河岸・平塚海岸他）、I：高麗山・湘南平、J：相模川、の10地区に区分して調査を行った（図1）。

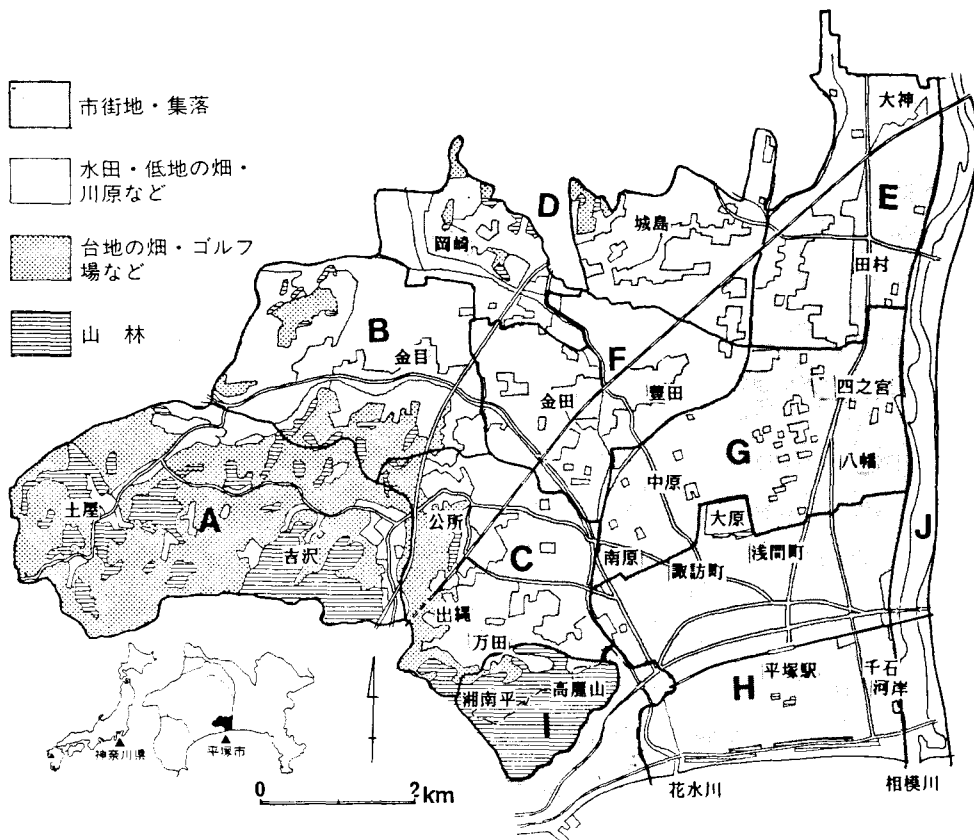


図1. 調査地域の区分と土地利用

市の中心部にあたるGおよびHは、相模平野の砂州砂丘地帯で、ほぼ全域が市街地化しており、海岸付近のクロマツ林と、点在する社寺林が残された僅かな緑である。D、E、FおよびB、Cの一部は相模平野の沖積低地で、広い水田が発達し、自然堤防上の微高地や台地のへりに集落が形成されている。近年は水田を埋立てて大規模な団地の建設も行われている。Jは河川敷で、かなりの部分がグラウンドに造成されているが、砂礫地、オギ群落、ヨシ群落、ヤナギ林などの多様な環境も残されている。AとB、Cの一部は大磯丘陵の一画で、集落、畑、水田、ミカン畑、雑木林、スギ林などがモザイク状に入りまざった景観の広がる里山である。標高は最高地点でも200mに満たない。Iは同じ大磯丘陵だが、地形的にやや急峻で、全域に森林が広がり、高麗山南面の照葉樹林は神奈川県天然記念物に指定されている。最高地点は標高181mの浅間山である。

調査は1983年9月から1985年10月まで約2年間にわたって毎月原則として1回実施した。採集はハンドソーティングおよびピーティングを主とし、環境と季節によってはふるいなども用いた。乱獲は避けるように心がけ、また生態的な情報もなるべく記録するようにした。調査地はA～Jの10地区をまんべんなく回るように計画したが、結果的には偏りができてしまった。また各地区の中では、もっとも自然のよく残ったポイントで調査を行ったので、市街地では社寺林が主な対象となった。採集したクモは、その日の内に博物館へ持ち帰り、整理、同定を行った。標本は70%エチルアルコールの液浸標本とし、平塚市博物館に一括して保存してある。

標本の同定については、前述の通り、新海栄一氏にはほぼ全ての標本に目を通していただいた。これらの採集と同定の記録は、会員の日下清文が作成したマイクロコンピュータのプログラムによって整理を行った。

3. 調査結果の概要

2年間にわたる調査の結果、平塚市およびその周辺部で記録された真正クモ類は31科253種となった。なお、この中には種名の決定に至らなかった6種が含まれており、さらにここに記録しなかった未検討の約10種類の標本がある。253種という種類数は八王子市の316種(新海1978, 81)と比較すると少ないが、平塚が最高地点で標高200mの低丘陵地で、市街地化も著しく進んでいることを考えると、予想よりも多くの真正クモ類が発見されたと言える。

地区別に記録種類数を比較すると、A:150種、B:113種、C:86種、D:71種、E:42種、F:52種、G:67種、H:64種、I:125種、J:89種となっている。Aの土沢地区の種類数が目立って多いが、これは採集回数が多かったためもあるが、雑木林、溪流さらには人里近くの農耕地など環境が多様であることが原因と考えられる。またJの相模川地区も相模平野の中では種類数が多いが、これはホエトリグモ科、コモリグモ科など徘徊性の種が多く記録されたためである。

今回記録されたものの中で、分布上特筆すべき種としては、シロホンヒメグモ、タイリクアアリグモ、イボカニグモ、イサゴコモリグモ、フジイコモリグモなどがあげられる。またフクログモ科の

一種 *Clubiona hummeli* は、中国大陸で記載された種で、今回の発見が、国内初記録となった。

4. 真正クモ類目録

本調査で記録された真正クモ類の目録を以下に掲げる。科、属、種の配列および学名、和名は、「日本産真正蜘蛛類目録(1977年改訂)」(八木沼1977)と「同補遺(1)~(4)」(八木沼1978,1980,1981,1982)および八木沼(1984)を基本としたが、コツブグモ科・カニグモ科・エビグモ科・ウエムラグモ科・メスジロハエトリについては「フィールド図鑑クモ」(新海・高野1984)によった。その他、ウズグモ属、ヒメグモ属、セスジアカムネグモ属、ヤドカリグモ・キハダカニグモ・アオオビハエトリ等の問題のある学名については、「現段階では」という留保つきの新海栄一氏の意見(1985年)を参考にした。また従来、サラグモ科とされていた種については、これまでの多くのリストとの比較の便を考えサラグモ科の後半にまとめて示した。

種の解説は、一般的な生態、平塚での生息環境、採集状況などについてふれ、分布として具体的な記録例を示した。網の名称は新海(1979)を使用し、これに出ない種は、適宜、各種の図鑑(八木沼1968, 松本他1976など)を参考にした。また、「フィールド図鑑クモ」(新海・高野1984)を生態記事の参考にした。

カネコトタテグモ科 ANTRODIAETIDAE

1. カネコトタテグモ *Antrodiaetus roretzii* (L. Koch)

各地区の神社境内の木の根元、土の露出したがけ地等で比較的良好に見られるが、住居の発見は容易ではない。市街地では見られない。住居は1ヶ所に数個がまとまっていることが多く、径6~15mm程度の横穴で入口には両開きの扉がある。深さは大きいもので20cm前後である。

分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・高麗山

トタテグモ科 CTENIZIDAE

2. キシノウエトタテグモ *Latouchia typica* (Kishida)

高麗山の南斜面で1頭確認された。前種同様住居の発見がむずかしいためこれ以上の確認・採集報告はないが、局地的な分布をしていると考えられる。前種と異なり入口の扉は片開きで、住居は縦方向に地中にのびる。分布：高麗山

3. キノボリトタテグモ *Ummidia fragaria* (Doenitz)

社寺林などの苔むした木の表面や石垣などの表面に営巣する。市内2ヶ所で採集されているが発見が難しい。袋状住居の直径は10~15mm 長さは3cm程度である。分布：金目・高麗山

ジグモ科 ATYPIDAE

4. ジグモ *Atypus karschi* Doenitz

採集・確認記録は少ないが、市内全域に普通に見られる。砂地に多く、樹木の根元、石垣、塀

などの下方に管状住居をつくるが入口は開口していない。住居は地上部で5～10cm、地中部分は20cm程度である。現在では見られなくなったが、以前は子供の遊びの対象として比較的親しまれたクモである。 分布：全域

5. ワスレナグモ *Calommata signatum* Karsch

採集記録はないが、高麗神社境内及び諏訪町の江南高校校庭の2ヶ所で生息が確認されている。特に江南高校では局地的に多数生息している。住居は管状で扉はなく穴があいた状態である。深さは20cm程。 分布：諏訪町・高麗山

ハグモ科 DICTYNIDAE

6. ネコハグモ *Dictyna felis* Boes. et Str.

各地で普通に見られ、広葉樹の葉上に天幕網を張るが塀等ではボロ網が多い。分布：全域

7. カレハグモ *Lathys humilis* Blackwall

岡崎神社で1頭採集された。成体でも体長2mm程の微小なクモで、ボロ網を張る。分布：岡崎

8. ナンジカレハグモ *L. punctosparsa* Oi

岡崎神社において1頭採集された。前種と同様微小なクモ。分布：岡崎

ウズグモ科 ULOBORIDAE

9. マネギグモ *Miagrammopes orientalis* Boes. et Str.

土屋と金目地区で採集された他、高麗山でも生息が確認された。絹糸体条網を張り脚を伸ばした状態、又は第1脚を広げY字形の状態で静止している。分布：土屋・吉沢・金目・高麗山

10. カタハリウズグモ *Uloborus sybotides* Boes. et Str.

次種に近似したクモ。採集記録は少なく生息数は次種より少ないと思われる。絹糸体円網。分布：土屋・神田・高麗山・相模川

11. ウズグモ *U. varians* Boes. et Str.

普通に見られるが市街地には少なく、丘陵地に多い。直射日光の射さない林間などの地上から低い部分に渦巻状のかくれ帯をつけた水平円網をはる。前種と生活環境、習性はほとんど同じで成体以外では、区別がむずかしい。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・南原・高麗山・相模川

エンマグモ科 SEGESTRIDAE

12. ミヤグモ *Ariadna lateralis* (Karsch)

名の由来の通り、社寺の境内でよく発見された。建物の外壁や樹木の表面のすき間などに管状の巣を作り、放射状に受信糸を出している(管状受信糸網)。分布：金目・岡崎・豊田・南原

タマゴグモ科 OONOPIDAE

13. ダニグモ *Gamasomorpha cataphracto* Karsch

微小なクモで発見しにくい。丘陵部、市街地の神社境内で3頭の採集例がある。分布：吉沢・神田・高麗山

ヤマシログモ科 SCYTODJDAE

14. ユカタヤマシログモ *Scytodes thoracica* (Latreille)

比較的よく見られるが採集例は少ない。屋内性のクモであるが、刈取りの終わった水田でも採集された。分布：公所・中原

ユウレイグモ科 PHOLCIDAЕ

15. ユウレイグモ *Pholcus crypticolens* (Boes. et Str.)

廃屋や古い建物などに普通に見られる。屋内、屋外ともに採集例がある。不規則網を張る。分布：土屋・吉沢・金目・城島・豊田

16. イエユウレイグモ *P. phalangiolaes* (Füsslin)

大原地区で1頭確認されている。他に正式の記録はないがよく見られるクモ。屋内性で前種より大形である。分布：大原

17. シモングモ *Spermophora senoculata* (Dugés)

市街地の中原御殿で、採集、確認が各1例ある。屋内性で体長2mm程の普通種。分布：中原

ヒメグモ科 THERIDIIDAE

18. ツリガネヒメグモ *Achaearanea angulithorax* (Boes. et Str.)

崖地や樹木の根元などに土や砂粒を釣鐘状につるし周囲に不規則網を張る(釣鐘網)。分布：土屋・万田・岡崎・中原

19. キヒメグモ *A. asiatica* (Boes. et Str.)

ヒメグモとよく似ているが本種の方が小型で春先に出現する。土屋地区において2頭採集されている。不規則網でシートはない。分布：土屋

20. カグヤヒメグモ *A. lunata* (Clerck)

不規則網を張る。分布：土屋・吉沢・万田・岡崎・高麗山・湘南平・相模川

21. オオヒメグモ *A. tepidariorum* (C. Koch)

幅広い環境で見られる最も普通のクモ。日本中に広く分布する。不規則網を張る。分布：全域

22. アシプトヒメグモ *Anelosimus crassipes* (Boes. et Str.)

丘陵地とそれに近い地区で最も普通に見られ、市街地では少ない。広葉樹の葉の裏、垣根、小枝の先などに不規則網を張る。分布：土屋・吉沢・金目・公所・万田・南原・高麗山・湘南平

23. オナガグモ *Ariamnes cylindrogaster* Simon

名の通り細長い体形のクモで、体をのぼして静止していると杉の葉などとまぎれ発見しにくい。普通に見られる。丘陵地に多いが相模川でも採集されている。無粘性糸網を張り糸を伝ってくるクモを主に捕食する。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・万田・高麗山・相模川

24. ホシミドリヒメグモ *Chryso punctifera* (Yaginuma)

広葉樹の葉裏などに垂糸網を張る。名前通り緑色の美しいクモ。分布：土屋・吉沢

25. ヤホシサヤヒメグモ *Coleosoma octomaculatum* (Boes. et Str.)
 各地区から採集例があるが個体数はあまり多くない。不規則網を張る。分布：吉沢・金目・岡崎・中原・平塚海岸
26. シロカネイソウロウグモ *Argyrodes bonadea* (Karsch)
 イソウロウグモ中最も個体数が多く、普通に見られる。多くのクモを宿主にするが、ジョロウグモの網が最も多い。分布：土屋・吉沢・金目・万田・岡崎・豊田・大原・平塚海岸・高麗山
27. チリイソウロウグモ *A. fissifrons* O. P. Cambridge
 主としてクサグモの網に居候する。分布：吉沢・高麗山
28. フタオイソウロウグモ *A. fur* Boes. et Str.)
 前種より個体数は多い、クサグモの他、サラグモ等にも居候する。分布：土屋・吉沢・金目・高麗山・湘南平
29. ヤリグモ *A. saganus* (Karsch)
 他のクモを襲う性質をもつクモ。槍の穂先に類似した独特な形の卵のうをつくる。丘陵地に多いが相模川でも採集例がある。分布：土屋・吉沢・金目・高麗山・湘南平・相模川
30. ボカシミジングモ *Dipoena castrata* Boes. et Str.
 樹葉間・草間を徘徊。ア리를捕食する。分布：土屋・吉沢・中原・高麗山
31. キベリミジングモ *D. flavomarginata* Boes. et Str.
 土屋及び高麗山で2頭の採集例がある。分布：土屋・高麗山
32. カニミジングモ *D. mustelina* Simon
 ア리를捕食。ミジングモの中では一番多く見られる。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・豊田・中原・高麗山
33. コアカクロミジングモ *D. mutilata* Boes. et Str.
 高麗山周辺及び金目地区で採集されている。分布：金目・万田・高麗山
34. シモフリミジングモ *D. punctisparsa* Yaginuma
 夜間活発にア리를捕食する。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・高麗山
35. ヤマトコノハグモ *Enoplognatha japonica* (Boes. et Str.)
 水田に多く、稲株の間等に粘性不規則網を張る。分布：金目・公所
36. カレハヒメグモ *E. transversifoveata* (Boes. et Str.)
 市内で普通に見られ、家の塀や樹皮の割れ目等に住居を作り、そこから目の細かい粘性不規則網を張る。分布：全域
37. ヒシガタグモ *Episinus affinis* Boes. et Str.
 湘南平において幼体が1頭採集された。夜間、逆Y字型網を張り、はい回る虫をつり上げる。分布：湘南平

38. ハラナガヒシガタグモ *E. caudifer* Doenitz et Str.
 ビーティングにより上吉沢において1月にオスの垂成体2頭が採集された。分布：吉沢
39. ツクネグモ *Phoroneidia pilula* (Karsch)
 吉沢地区で一頭採集された。長さ5~10cmの粘性の強い1本の糸をひいただけの簡単な条網(粘性条網)を張る(松本他1976)。分布：吉沢
40. ゴマダラヒメグモ *Steatoda albomaculata* (Degeer)
 中原御殿で1例採集された。粘性不規則網を張る。分布：中原
41. ハングツオスナキグモ *S. cavernicola* (Boes et Str.)
 3例の採集記録はいずれも相模川のもので全て♀である。粘性不規則網を張る。分布：相模川
42. シロホシヒメグモ *S. grossa* (C. Koch)
 国内で、長い間採集記録のなかった重要種。1985年5月26日に平塚海岸に近い市街地の民家の庭先で♂♀各1頭が採集された。分布：千石河岸
43. スネグロオチバヒメグモ *Stemmops nipponicus* Yaginuma
 各地の落葉層および地表付近で採集されている。分布：吉沢・金目・田村・豊田・高麗山
44. バラギヒメギモ *Theridion chikunii* (Yaginuma)
 比較的良好に見られる。木の枝、葉裏などに不規則網を上部にもった平面的な網を張り、不規則網の上に占座する。(新海1969)。テント網と称する。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・南原・中原
45. ヒメグモ *T. japonicum* (Boes et Str.)
 普通に見られるクモだが市街地より丘陵地に近い地区で多く見られる。シート付不規則網を張り、木の葉をつるしてその中にひそむ。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・南原・中原
46. コンピラヒメグモ *T. kompirense* (Boes et Str.)
 前種と似た網を張るがシート網がない。3頭の採集例がある。分布：金目・万田・相模川
47. ムナボシヒメグモ *T. sterniotatum* Boes et Str.
 市内各地で採集されている。徘徊性で他のクモを襲う。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・豊田・高麗山・湘南平・相模川
48. キヨヒメグモ *T. sp.*
 オオヒメグモに似た不規則網を張る。5月下旬、楽器のマラカス様の白い卵のうを網内につるす。分布：土屋・岡崎・南原・平塚海岸・相模川
49. コケヒメグモ *T. subadultum* Boes et Str.
 冬期から春にかけて4例の採集例がある。崖地等に不規則網を張るが冬期は樹皮下に潜む(新海1969)。分布：吉沢・金目・相模川
50. ハイイロヒメグモ *T. subpallens* (Boes et Str.)

枯木の樹皮・石垣などに不規則網を張る。分布：金目・田村・豊田・中原

ホラヒメグモ科 NESTICIDAE

51. コホラヒメグモ *Nesticus brevipes* Yaginuma

相模川で1頭採集。不規則網を張る。分布：相模川

サラグモ科 LINYPHIIDAE

52. タヤマミサラグモ *Arcuphantes tamaensis* (Oi)

地表に近い部分にシート網を張り、クモは網の下面中央に静止する。分布：高麗山・湘南平

53. クロテナガグモ *Bathyphantes robustus* (Oi)

二つの地区で1頭ずつ採集されている。この属はシート網を張る。分布：高麗山・相模川

54. タテヤマテナガグモ *B. tateyamaensis* (Oi)

分布：金目・神田・高麗山

55. テナガグモ *B. orientis* (Oi)

刈り取りの終わった水田の株間などで多数越冬しており、このような場所で普通に見られる。

分布：公所・田村・豊田

56. デーニッツサラグモ *Doenitzius peniculus* (Oi)

分布：神田

57. コデーニッツサラグモ *D. purrus* (Oi)

高麗山において1頭採集。この属もシート網を張る。分布：高麗山

58. ヘリジロサラグモ *Linyphia oidedicata* (Helsdingen)

最も普通に見られるサラグモ。市街地でも見られる。比較的大きいシート網を張る。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・田村・豊田・高麗山・湘南平・相模川

59. ユノハマサラグモ *Prolinyphia yunohamensis* (Boes. et Str.)

丘陵地に多い。スギ・ヒノキなどの枝葉間・下草の間などに直径10~30cm、深さ1~4cm程の浅い皿網を張る(新海1984)。ドーム網と称す。分布：吉沢・高麗山・湘南平

60. クロケシグモ *Meioneta nigra* Oi

分布：金目・相模川

61. スゴグロサラグモ *Ostearius melanopygius* (O. P. Cambridge)

中原地区において一頭確認。シート網を張る。分布：中原

62. キソサラグモ *Porrhoma kisoense* (Oi)

出縄地区で一頭採集。シート網を張る。分布：出縄

63. ヨツボシサラグモ *Strandella quadrimaculata* (Uyemura)

公所の水田で一頭採集された。分布：公所

64. コサラグモ *Aprifrontaria mascula* (Karsch)

高麗山地区において5月および8月に各々1頭が採集された。シート網。分布：高麗山

65. ザラアカムネグモ *Asperthorax communis* Oi
4例の採集記録のうち、3例は冬期である。シート網。分布：吉沢・金目・高麗山・湘南平
66. ハラジロムナキグモ *Diplocephaloides saganus* (Boes. et Str.)
分布：大原・相模川
67. ノコギリヒザグモ *Erigone prominens* (Boes. et Str.)
分布：土屋・金目・豊田
68. クロナンキングモ *Erigonidium graminicola* (Sundevall)
分布：金目
69. マダラナンキングモ *E. torquialpis* Oi
分布：吉沢
70. ニセアカムネグモ *Gnathonarium dentatum* (Wider)
冬期に水田中で採集された。分布：金目・公所・出縄・中原
71. アリマケズネグモ *Gonatium arimaense* Oi
出縄地区で1頭採集、前種と同地点に分布していた。分布：出縄
72. ケズネグモ *G. opimum* Oi
10月下旬から1月に吉沢、高麗山などで採集された。分布：吉沢・金目・高麗山
73. チビアカサラグモ *Nematognus sanguinolentus* (Walckenaer)
市内各地で採集例があり、普通に見られる。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・岡崎・湘南平・相模川
74. コトガリアカムネグモ *Oedothorax angulituberosus* (Oi)
分布：金目
75. セスジアカムネグモ *O. insectipes* Boes. et Str.
水田で越冬中の個体が多い。分布：土屋・金目・公所・万田・大原。
76. オオサカアカムネグモ *O. osakaensis* Oi
平地部での採集例が多い。分布：土屋・中原・相模川
77. トウキョウアカムネグモ *O. tokyoensis* (Uyemura)
分布：金目・神田
78. チョビヒゲヌカグモ *Wideria antica* (Wider)
分布：中原

センショウグモ科 MIMETIDAE

79. センショウグモ *Ero japonica* (Boes. et Str.)
他のクモの網に侵入し、そのクモを捕食する。丘陵地によく見られる。分布：土屋・金目・出縄・岡崎・豊田・中原・高麗山

コツブグモ科 MYSMENIDAE

80. ナンプコツブグモ *Mysmena jobi* (Komatsu)

小さな目の細かい球状円網の中心にいる。水辺に多い。分布：金目・万田

コガネグモ科 ARANEIDAE

81. ハツリグモ *Acusilas coccineus* Simon

地表の草間にキレ網を張り、中心に枯葉をつるして潜む。擬装キレ網と称する。分布：吉沢・平塚海岸・高麗山

82. ヤエンオニグモ *Araneus macacus* Uyemura

草間に垂直の正常円網または呼糸円網を張り、幼体期はかくれ帯をつける。丘陵地に多く、市街地では採集されなかった。分布：土屋・吉沢・湘南平

83. オニグモ *A. ventricosus* (L. Koch)

夜間、正常円網または呼糸円網を張り、昼間は物陰に潜む。関東では、毎日、網をたたむわけではない。いずれの地区でも最も普通にみられる。分布：全域

84. ナカムラオニグモ *A. cornutus* Clerck

草原や建物の周囲などに多く、正常円網または呼糸円網を張る。網の一端に袋状の住居を草の葉を重ねて作る。四之宮で1頭採集された。分布：四之宮

85. キザハシオニグモ *A. abscessus* (Karsch)

河原や草原のススキ・アシ等の草間に水平の円網を張るといふ。8月下旬に採集された。分布：土屋・千石河岸・相模川

86. ムツボシオニグモ *A. displicatus* Nents

広葉樹の葉の表面または葉裏に、小さな水平の正常円網を張る。豊田八幡神社で1頭採集された。分布：豊田

87. ビジョオニグモ *A. mitificus* (Simon)

樹間に完全キレ網を張り、網の一端の葉を少しまらめて天幕をはって住居を作る。住居内で呼糸に第1脚をかけて獲物を待機している。(中平1961)。市内全域でみられるが丘陵地に多い傾向がある。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・岡崎・南原・旧市内・平塚海岸・湘南平

88. アオオニグモ *A. pentagrammicus* (Karsch)

習性は前種とほとんど同じ。分布も丘陵地に多い傾向がある。分布：土屋・吉沢・金目・千石河岸・高麗山

89. マルヅメオニグモ *A. semilunaris* (Karsch)

市内の丘陵部に分布し、樹間の高所に正常円網を張る。夕方造網する。(中平1961)。分布：吉沢・湘南平

90. カラオニグモ *A. viperifer* Schenkel

広葉樹の葉の表面または草間に、垂直または斜めに正常円網を張り、中心にとまる。分布：高麗山・相模川

91. ドヨウオニグモ *Neoscona doenitzi* (Boes. et Str.)

水田、河原の草間に正常円網または正常水平円網を張る。水田など水辺に普通にみられるクモである。分布：土屋・吉沢・岡崎・大原・相模川

92. ヤミイロオニグモ *N. fuscocolorata* (Boes. et Str.)

正常円網、呼糸円網または切断キレ網を張る。網の一端の枝や葉に潜む。市内では個体数があまり多くない。個体による色彩変異が多い。分布：土屋・中原・相模川

93. コゲチャオニグモ *N. lugubris* (Walckenaer)

木や草間に正常円網を張る。市内各地に分布するが、個体数はあまり多くない。分布：土屋・金目・岡崎・南原

94. ワキグロサツマノミダマシ *N. mellottei* (Simon)

昼間は葉裏にひそみ、夕方から正常円網を張る。市街地には少ないが、普通種である。サツマノミダマシより遅れて出現する。分布：土屋・吉沢・出縄・万田・相模川

95. イエオニグモ *N. nautica* (L. Koch)

駅などに特に多く、正常円網を張る。年1化性。越冬は幼体、幼体の大きさは様々で成体となる時期、産卵時期に遅速の差が大きい(中平1979)。市街地に多い。分布：公所・旧市内

96. ヤマシロオニグモ *N. scylla* (Karsch)

樹間、草間に正常円網を張り、中心にとまる。腹部の色彩には変異が多く、セジロ型、アトグロ型などがある。前日の網は食い、毎日網を張り替る。普通に見られる。分布：全域

97. サツマノミダマシ *N. scylloides* (Boes. et Str.)

昼間は葉裏にひそみ、夕方から正常円網を張る。市街地には少ないが、普通種である。分布：吉沢・万田・大原・高麗山・相模川

98. ズグロオニグモ *Yaginomia sia* (Strand)

家屋などの隅に正常円網を張り、網の支点にある物陰に住居をつくる(正常円網および呼糸円網)。幼体で越冬するものと、卵で越冬するものがある(中平1961)。分布：土屋・吉沢・四之宮・相模川

99. ヨツボシシヨウジヨウグモ *Singa pygmaea* (Sundevall)

分布：神田

100. シロスジシヨウジヨウグモ *Hypsosinga sanguinea* (C. Koch)

市内で採集されたものは、すべて赤色フタホシ型である。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎

101. サガオニグモ *Zilla astridae* (Strand)

樹間に正常円網または白帯円網(かくれ帯をもつ網)を張る。分布：吉沢・高麗山

102. カラフトオニグモ *Z. sachalinensis* (Saito)

木や草間に正常円網または白帯円網を張る。幼体では前種と区別が難しい。色彩、斑紋には変異が多く、白糸型、緑色型、黄色型、キマダラ型などがあり、この地域では白糸型が多く記録された。丘陵地に多く分布し、日陰にいることが多い。分布：吉沢・金目・岡崎・高麗山・湘南平

103. コガネグモ *Argiope amoena* L. Koch

草の木の枝の間、軒下などに大きな正常円網または白帯円網を張る。南方系のクモで年1化。幼体で越冬する。平塚では普通種であるが、他の地方と同様、近年減ってきている。分布：吉沢・万田・田村・相模川

104. ナガコガネグモ *A. bruennichii* (Scopoli)

草原や林縁の草間、水田の稲の間など直径20～50cm程の体長に比して小さめの正常円網または白帯円網を張り、中心にとまる。最も普通に見られるクモ。分布：土屋・吉沢・万田・平塚海岸・湘南平・相模川

105. チュウガタコガネグモ *A. boesenbergi* Boes. et Str.

林縁に造網している。土屋愛宕山で1頭確認。正常円網または白帯円網を張る。分布：土屋

106. コガタコガネグモ *A. minuta* Karsch

習性は前種と同じ。市内では普通。分布：土屋・吉沢・万田・岡崎・湘南平・相模川

107. ヤマトカナエグモ *Chorizopes nipponicus* Yaginuma

他のクモの網に侵入し、餌を盗んだり、網主を攻撃、捕食したりする。分布：土屋・吉沢・金目・大原

108. ギンメッキゴミグモ *Cyclosa argenteo-alba* Boes. et Str.

草間に垂直に円網を張り、頭部を上にしてとまる。採集は高麗山地区の1例のみである。この属の多くは白帯円網(かくれ帯をつける)か擬装円網(ごみりボンをつける)を張る。分布：高麗山

109. シマゴミグモ *C. insulana* (Costa)

暖地性の種である。分布：高麗山

110. キジロゴミグモ *C. laticauda* Boes. et Str.

吉沢において1頭採集された。かくれ帯はつけない。分布：吉沢

111. ヤマゴミグモ *C. monticola* Boes. et Str.

高麗山において1頭採集されたが、個体数は少ない。分布：高麗山

112. ゴミグモ *C. octotuberculata* Karsch

擬装円網を張る。各地で普通に見られるクモ。分布：全域

113. ヨツデゴミグモ *C. sedeculata* Karsch

擬装円網を張るが、幼体は渦巻き状のかくれ帯をつける。各地で普通に見られる。分布：土屋・吉沢・金目・万田・岡崎・田村・高麗山・相模川

114. オオトリノフンダマシ *Cyrtarachne inaequalis* Thorell

昼間はススキなどの葉裏に静止し、夕方から夜間にかけて活動し、メス成体は大型の目の荒い同心水平円網を張る。(厳密には同心円ではない)。糸の粘着力は強い。個体数は少ないがトリノフンダマシ類の中ではよく見られるクモ。分布：土屋・出縄・万田

115. アカイロトリノフンダシ *C. yunoharuensis* Strand

習性は前種と同じであるが網は小さめである。吉沢地区で1頭採集された。分布：吉沢

116. トリノフンダマシ *C. bufo* (Boes. et Str.)

習性は前種と同じ。相模川下流の左岸で1頭採集された。分布：相模川

117. クロトリノフンダマシ *C. nigra* Yaginuma

習性は前種と同じ。南方系のクモで伊豆付近まではよく見られるが以北ではめずらしい。分布：万田

118. シロオビトリノフンダマシ *C. nagasakiensis* Strand

習性は前種と同じ。万田地区では前種のすぐ近くで採集された。分布：土屋・万田

119. コガネグモダマシ *Larinia argiopiformis* Boes. et Str.

樹間、草間に正常円網を張る。分布：土屋・南原・平塚海岸・相模川

120. ヤマジドヨウグモ *Meta reticuloides* Yaginuma

上吉沢と湘南平で一頭ずつ採集された。湘南平のものは倒木の下に湿った空間に正常水平円網を張っていた。分布：吉沢・湘南平

121. メガネドヨウグモ *Metteucauge yunohamensis* (Boes. et Str.)

用水路の上や小川の上など水面近くに大型の正常水平円網を張ることが多い。普通種。

分布：土屋・金目・公所・南原・高麗山

122. ジョロウグモ *Nephila clavata* L. Koch

市内で最も普通に見られる。樹間にきわめて目の細かい蹄型円網を張る。個体数も非常に多い大形のクモである。体長は雌雄の差が著しい。分布：全域

カラカラグモ科 THERIDIOSOMATIDAE

123. ヤマジグモ *Ogulnius pullus* Boes. et Str.

水平円網がくずれたような形の網(立体円網)および同心水平円網を張る。分布：吉沢・万田

124. ナルコグモ *Wendilgarda agnosca* (Strand)

溪流の石の間に糸をひき、そこから数本の粘糸を水面におろした鳴子網と呼ばれる網を張る。吉沢地区で1頭採集された。分布：吉沢

アシナガグモ科 TETRAGNATHIDAE

125. ヒメアシナガグモ *Dyschiriognatha tenera* (Karsch)

草間、落葉、水田などで採集される。生態は不明で、個体数は多くない。分布：金目・出縄

126. ヨツボシヒメアシナガグモ *D. quadrimaculata* Boes. et Str.
水田の稲株，草間に徘徊する。分布：土屋・金目・出縄・神田・豊田
127. オオシロカネグモ *Leucauge magnifica* Yaginuma
樹間・草間に正常水平円網を張る。市内の林内に普通。分布：土屋・吉沢・万田・出縄・旧市内・平塚海岸・高麗山
128. コシロカネグモ *L. subblanda* Boes. et Str.
前種より小型で，木や草間に正常水平円網を張る。メス幼体は前種と区別が難しい。分布：土屋・金目・高麗山・相模川
129. キラシロカネグモ *L. subgemma* Boes. et Str.
草間に正常水平円網を斜めに張る。刺激を与えると腹部は金色から褐色に変化する。市内の林などに多い。分布：土屋・金目・万田・相模川
130. アゴブトグモ *Pachygnatha clercki* Sundevall
冬期に市内の水田のワラや草むらで多数採集されている。分布：金目・公所
131. トガリアシナガグモ *Tetragnatha caudicula* (Karsch)
豊田で1頭採集された。腹部後端がとがっている。この属は正常水平円網を張る。分布：豊田
132. ヤサガタアシナガグモ *T. japonica* Boes. et Str.
水田などに多い。年に2〜3回発生する。肉眼では次種と区別が難しい。分布：土屋・吉沢・金目・万田・城島・旧市内・高麗山
133. アシナガグモ *T. praedonia* L. Koch
池の周囲や河原などに普通にみられる。分布：全域
134. シココアシナガグモ *T. shikokiana* Yaginuma
河原の草間などにみられ，水平または斜めに円網を張る。分布：土屋
135. ウロコアシナガグモ *T. squamata* Karsch
小さな正常水平円網を張る。市内各地の木や草間に普通に見られる。分布：全域
- ヒラタグモ科 UROCTEIDAE
136. ヒラタグモ *Uroctea compactilis* L. Koch
家屋の周囲，へい，壁などに円盤状の住居をつくり，そこから受信糸を放射状に張る（放射状受信糸網）。市内各地域に最も普通にみられる。分布：全域
- タナグモ科 AGELENIDAE
137. クサグモ *Agelena limbata* Thorell
庭木，生垣に管状住居のある棚網を作る。コクサグモより早く成熟し，秋に葉間に多面体の卵のうを作る。卵のう内で幼体越冬する。個体数が減る傾向にある。分布：全域
138. コクサグモ *A. opulenta* L. Koch

前種同様の網を作る。出のうしたばかりの幼体は赤褐色。腹部背面後端に赤色が残るので、クサグモの幼体と区別できる。卵のうは扁平な円形で葉上につける。卵越冬。分布：土屋・吉沢万田・岡崎・南原・高麗山・相模川

139. ホラズミヤチグモ *Coelotes antri* (Konatsu)

湿った岩場、崖地に生息。岩や土の隙間に管状住居を作り、入口から大きな棚網を張る(新海1977)。分布：高麗山

140. ヤマヤチグモ *C. corasides* (Boes et Str.)

樹葉上、崖地などに棚網を張る。分布：吉沢・出縄・田村・高麗山・湘南平

141. ヤチグモ *C. exitialis* L. Koch

漏斗網を作る。生殖器の構造に変異がある。分布：土屋・岡崎・高麗山・湘南平

142. シモフリヤチグモ *C. insidiosus* L. Koch

漏斗網。形態の似た別種が多い。分布：金目・万田・岡崎・豊田・南原

143. アズマヤチグモ *C. kitazawai* Yaginuma

漏斗網。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・南原

144. メガネヤチグモ *C. luctuosus* Boes et Str.

漏斗網。家の周囲の壁面、石垣などに多い。幼体が母グモと同居し、給餌を受ける。分布：土屋・吉沢・金目・城島・豊田・中原・大原

ハタケグモ科 HAHNIIDAE

145. ハタケグモ *Hahnia corticicola* Boes et Str.

畑のくぼみ、芝生・草原の地表面に小さな棚網に近い形の網を張る。分布：土屋・田村

キシダグモ科 PISAURIDAE

146. スジプトハシリグモ *Dolomedes pallitarsis* Doen et Str

習性はイオウイロハシリグモに似るが、水辺に多い。分布：公所

147. アオグロハシリグモ *D. raptor* Boes et Str.

溪流付近の葉上に多い。分布：吉沢

148. イオウイロハシリグモ *D. sulfreus* L. Koch

草や低木の葉上で獲物を待つ。す早く徘徊する。色彩や斑紋に変化が多い。成体は大形(メス2~3cm)で、夏に卵のうを抱えている。分布：全域

149. アズマキシダグモ *Pisaura lama* Boes et Str

色彩や斑紋に変化が多い。他のキシダグモ科のクモより早く成体が出現する(5~6月)。分布：土屋・大原・相模川

コモリグモ科 LYCOSIDAE

150. エビチャコモリグモ *Arctosa ebicha* Yaginuma

- 山地に多く、草原、石の下などを徘徊する。3～5月にかけて卵のうを保持したメスは3～4cmの穴に潜む。入口の周りは草やワラなどを糸でかがってある(新海1969)。分布：相模川
151. フジイコモリグモ *A. fujii* Tanaka
 湿った落葉層に生息。卵のうは3月上旬～6月に見られる(田中1984)。分布：金目・相模川
152. ハラクロコモリグモ *Lycosa coelestis* L. Koch
 大形のコモリグモで、地表を徘徊する。卵のうを作ると地中に潜って保護するという。分布：高麗山・相模川
153. カガリビコモリグモ *L. depectinata* (Boes. et Str.)
 分布：平塚海岸・高麗山
154. キクツキコモリグモ *L. pseudoannulata* (Boes. et Str.)
 水田に多く、稲の害虫をよく捕食する。分布：金目・公所・相模川
155. ウズキコモリグモ *Pardosa astrigera* L. Koch
 草間、落葉上、地表を徘徊する。広く分布するが、形態の似た別種が多い。分布：土屋・吉沢公所・万田・城島・南原・平塚海岸・湘南平・相模川
156. ヤマハリゲコモリグモ *P. brevivulva* Tanaka
 林内の落葉中に多い。分布：高麗山・湘南平
157. イサゴコモリグモ *P. isago* Tanaka
 分布：相模川
158. ハリゲコモリグモ *P. laura* Karsch
 非常に良く似た近縁種がいる。分布：吉沢・金目・公所・高麗山・湘南平・相模川
159. キシベコモリグモ *P. yaginumai* Tanaka
 分布：相模川
160. クラークコモリグモ *Pirata clerki* (Boes. et Str.)
 分布：相模川
161. ヤマトコモリグモ *P. japonicus* Tanaka
 幼体は土壤中に多いが、成長するにつれ、地表徘徊性になる(新海1980)。分布：公所・高麗山・相模川
162. カイゾクコモリグモ *P. piraticus* (Clerck)
 草間を徘徊する。幼体期はシート網を張り、管状住居を作る。分布：土屋・金目・出縄・高麗山・相模川
163. チビコモリグモ *P. procurvus* (Boes. et Str.)
 八王子では水田、浅川流域の河原に多いという(新海1980)。分布：高麗山
164. キバラコモリグモ *P. subpiraticus* (Boes. et Str.)

水田に多い。地表の隙間に管状住居を作る（新海・高野1984）。分布：公所

165. ヒノマルコモリグモ *Tricca japonica* Simon

幼体期は土壌中に多いが、成長につれ、地表徘徊性になる（新海1980）。分布：土屋・出縄・高麗山・相模川

166. アライトコモリグモ *Trochosa ruricola* (De Geer)

分布：金目・公所・神田

167. カラフトコモリグモ *T. terricola* (Thorell)

分布：土屋

ササグモ科 OXYOPIDAE

168. ササグモ *Oxyopes sertatus* L. Koch

草原に多く、驚くとジャンプして逃走する。負の走地性を示す。分布：旭・大野を除く全域

カニグモ科 THOMTSIDAE

169. キハダカニグモ *Bassaniana decorata* (Karsch)

樹幹に多い。冬期は樹皮下で越冬する。分布：旭を除く全域

170. イボカニグモ *Boliscus tuberculatus* (Simon)

高麗山南針面のスゲ群落で、10月に幼体・オス亜成体が多数採集された。分布：高麗山

171. コカニグモ *Coriarachne fulvipes* (Karsch)

冬期は樹皮下で越冬する（新海1969）。分布：金目・岡崎

172. アマギエビスグモ *Lysiteles coronatus* (Grube)

樹間、草間、花上にいる。個体数は少ない。分布：金目

173. ハナグモ *Misumenops tricuspidatus* (Fabricius)

草間、花上に多い。斑紋に変異がある。広く分布する。分布：全域

174. コハナグモ *M. japonicus* (Boes. et Str.)

前種に似た習性。分布：土屋・金目

175. ワカバグモ *Oxytate striatipes* L. Koch

緑色で中型のカニグモ。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・岡崎・城島・田村・豊田・中原・高麗山・湘南平

176. ガザミグモ *Pristius undulatus* Karsch

草や低木の葉上に出現。春に卵のうを作る。分布：土屋・出縄・万田・平塚海岸・高麗山・湘南平・相模川

177. アズチグモ *Thomisus labefactus* Karsch

花上に居る。体色に変異がある。分布：土屋・吉沢・金目・万田・城島・湘南平・相模川

178. トラフカニグモ *Tmarus piger* (Walckenaer)

草の葉上にいて、アリを取る。セマルトラフカニグモとよく似ている。分布：金目

179. セマルトラフカニグモ *T. rimosus* Paik

比較的広く分布する。アリを捕っているのを見る。また樹皮上で交接を見た。分布：土屋・吉沢・金目・出縄・高麗山

180. ヤミイロカニグモ *Xysticus croceus* Fox

下草の葉上で獲物を待つ。この属はよく似た別種が多く、幼体では区別できない。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・豊田・高麗山・相模川

181. シナカニグモ *X. ephippiatus* Simon

分布：中原

182. アズマカニグモ *X. insulicola* Boes. et Str.

分布：公所

183. オオヤミイロカニグモ *X. saganus* Boes. et Str.

分布：金目・平塚海岸・湘南平

184. オビボンカニグモ *X. trizonatus* Anner

分布：吉沢

エビグモ科 PHILODROMIDAE

185. キンイロエビグモ *Phidromus auricomus* L. Koch

分布：金目・城島・岡崎・高麗山

186. エビグモ *P. roseus* Kishida

分布：土屋・金目・出縄・南原・高麗山

187. キハダエビグモ *P. spinitarsis* Simon

樹皮上で生活する。冬期は樹皮下で越冬する。分布：土屋・金目・岡崎・田村・豊田

188. アサヒエビグモ *P. subaureolus* Boes. et Str.

生垣、葉上に多数生息。夏に卵のうを保護するメスが見られる。分布：旭・大野を除く全域

189. ヤドカリグモ *Thanatus miniaceus* (Simon)

草上に生息。分布：旧市内・高麗山・相模川

190. ヤマトヤドカリグモ *T. nipponicus* Yaginuma

前種同様の習性。局所的に多数分布する。分布：湘南平

191. シャコグモ *Tibellus tenellus* (L. Koch)

草間に生息。分布：旧市内・中原を除く全域

ハエトリグモ科 SALTICIDAE

192. ヤマジハエトリ *Aelurillus festivus* L. Koch

分布：土屋・相模川

193. キレワハエトリ *Bianor pullus* Boes. et Str
 分布：万田・岡崎・高麗山
194. ネコハエトリ *Carrhotus xanthogramma* (Latreille)
 亜成体で越冬し、春にオスが先に成熟し、メスの住居の近くで最終脱皮を待つ。分布：全域
195. マミジロハエトリ *Evarcha albaria* (L. Koch)
 オスの額に白毛があり、メスの腹背後端に黒い点が二つある。似た別種があるので注意。分布：土屋・上吉沢・万田・豊田・南原・大原・高麗山・湘南平・相模川
196. カタオカハエトリ *Euophrys frontalis* (Walckenaer)
 落葉層から採集した。分布：相模川
197. イナヅマハエトリ *E. undulovittata* Boes. et Str.
 樹皮上徘徊性、冬期は樹皮下に潜む。分布：土屋・金目・城島・中原・南原・平塚海岸・相模川
198. ウデプトハエトリ *Harmochirus brachiatus* (Thorell)
 草上や地表を徘徊する。冬期は枯葉で袋状住居を作り成体越冬する。分布：土屋・城島・大原平塚海岸・高麗山・湘南平
199. アダンソンハエトリ *Hasarius adansoni* (Audouin)
 海岸の草むらで採集された1例。分布：平塚海岸
200. デーニッツハエトリ *H. doenitzi* Karsch
 草や低木の葉間を徘徊する。分布：土屋・吉沢・金目・万田・城島・高麗山・湘南平
201. チビクロハエトリ *Heliophanus aeneus* (Hahn)
 河原の草間を徘徊。分布：相模川
202. メガネアサヒハエトリ *Icius linea* (Karsch)
 マガネアサヒハエトリと幼体は似ていて、区別できない。分布：豊田・中原・大原・相模川
203. チャイロアサヒハエトリ *Jotus abnormis* Boes. et Str
 分布：金目・豊田・南原・湘南平
204. マガネアサヒハエトリ *J. difficilis* (Boes. et Str)
 分布：湘南平
205. エキスハエトリ *Laufeia aenea* Simon
 幹上を徘徊する。分布：土屋・吉沢・中原・高麗山
206. ヤバズハエトリ *Marpissa elongata* (Karsch)
 イネ科植物の葉上を徘徊することが多い。成長につれ、斑紋が大きく変化する。分布：土屋・吉沢・金目・万田・南原・相模川
207. オスクロハエトリ *M. magister* (Karsch)
 前種と似た習性であり、メスは酷似している。稲ワラの内越冬していた。分布：金目・公所

208. ヨダンハエトリ *M. pulla* (Karsch)
 地表を、徘徊していることが多い。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・南原・大原・高麗山
209. シラヒゲハエトリ *Menemerus confusus* Boes. et Str.
 樹幹、扉上を徘徊。分布：吉沢・金目・城島・豊田・中原・平塚海岸・相模川
210. タイリクアリグモ *Myrmarachne formicaria* (De Geer)
 アメイロハエトリに似た美しいアリグモ。稀産種。分布：吉沢・相模川
211. ヤサアリグモ *M. innermichelis* Boes. et Str.
 分布：土屋・高麗山
212. アリグモ *M. japonica* (Karsch)
 アリに似ているが、アリとの関係はない。葉上に住居や産室を作る。分布：神田を除く全域
213. ネオンハエトリ *Neon reticulatus* (Blackwall)
 樹皮上に住居を作ったり、地表を徘徊したりする。分布：土屋・相模川
214. メスジロハエトリ *Phintella versicolor* (C. Koch)
 雌雄の形と色は全く異なる。冬期、樹皮下に住居を作り、その中で越冬する。局所分布。分布：吉沢・金目・城島・岡崎・豊田
215. マダラスジハエトリ *Plexippus annulipedis* Saito
 分布：吉沢
216. チャスジハエトリ *P. paykulli* (Audouin)
 暖地に多く、屋内にも入り込む。分布：高麗山
217. ミスジハエトリ *P. setipes* Karsch
 分布：土屋・金目・城島・岡崎・豊田・中原・南原・大原・平塚海岸・高麗山
218. カラスハエトリ *Rhene atrata* Karsch
 広く分布する。樹葉を巻き、袋状住居内で幼体から亜成体で越冬している。分布：相模川を除く全域
219. アオオビハエトリ *Silerella vittata* (Karsch)
 葉、石、倒木などの上を第1脚を振りあげながら徘徊し、よくアリを捕える。分布：全域
220. モンシロコゲチャハエトリ *Sitticus fasciger* (Simon)
 個体数は少ない。分布：土屋
221. アメイロハエトリ *Synagelides agoriformis* Strand
 分布：金目、相模川
222. ムツバハエトリ *Yaginumanis sexdentatus* (Yaginuma)
 分布：土屋・吉沢

フクログモ科 CLUBIONIDAE

223. アシナゴコマチグモ *Chiracanthium eutittha* Boes. et Str.

分布：高麗山

224. カバキコマチグモ *C. japonicum* Boes. et Str.

産卵期は7～8月、ススキの葉を曲げた住居の中に産卵する。子グモは第2回脱皮の後、母グモを食べる。住居は時期により、構造に違いがある。分布：土屋・吉沢・万田・豊田・湘南平・相模川

225. ヤマトコマチグモ *C. lascivum* Karsch

分布：大原・平塚海岸・相模川

226. ヤサコマチグモ *C. unicum* Boes. et Str.

分布：田村・旧市内

227. フクログモ新記録種 *Clubiona hummeli* Schenkel

中国で初記載された種(Schenkel 1936)で日本では初記録(1984年7月15日、平塚海岸クロマツ林縁のススキを曲げて卵室を作っていたメス成体1頭)。中国名は「双弓管巢蛛」(外雌器の形態によって双弓と称されている)。新海栄一氏同定。分布：平塚海岸

228. ヤハズフクログモ *C. jucunda* (Karsch)

分布：土屋・金目・田村・平塚海岸

229. ヤマトフクログモ *C. japonica* L. Koch

分布：金目・城島・豊田

230. ハマキフクログモ *C. japonicola* Boes. et Str.

水田に多い。イネ科植物を曲げて産室を作る。分布：金目・湘南平

231. ヒメフクログモ *C. kurilensis* Boes. et Str.

水田の優占種でハマキフクログモより多い。分布：金目・公所・城島・中原・湘南平・相模川

232. トビイロフクログモ *C. lena* Boes. et Str.

分布：金目・相模川

233. ミギワフクログモ *C. phragmitis* C. Koch

分布：金目

234. ムナアカフクログモ *C. vigil* Karsch

広く分布し個体数も多いが、幼体ではヤマトフクログモと区別できない。分布：田村・旧市内を除く全域

ウエムラグモ科 LIOCRANIDAE

235. イタチグモ *Itatsina praticola* (Boes. et Str.)

落葉，土壤中，地表を徘徊する。分布：土屋・吉沢・高麗山

236. オトヒメグモ *Orthobula curcifera* Boes. et Str.

落葉，地表を徘徊する。分布：田村・大原・旧市内

237. コムラウラシマグモ *Phrurolithus komurai* Yaginuma

落葉中に生息。分布：土屋・高麗山

238. ウラシマグモ *P. nipponicus* Kishida

落葉上を徘徊する。落葉上に扁平な卵のうを作る。乾燥に弱い。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・浅間町・高麗山・湘南平

239. ヤバネウラシマグモ *P. pennatus* Yaginuma

落葉上，地表を徘徊する。腹背に金色に輝く矢羽紋があるが，幼体でははっきりしない。分布：土屋・高麗山

240. ウラシマグモの一種 *P. sp.*

ウラシマグモに似るが，腹背の白線の後にも中央で切れた白線があり，触肢が異なる。分布：大原・高麗山

241. ネコグモ *Trachelas japonica* Boes. et Str.

落葉中，草間を徘徊する。広く分布する。分布：吉沢・金目・城島・神田・田村・豊田・中原・南原・高麗山・湘南平

242. ネコグモの一種 *T. sp.*

触肢の構造の異なるオス1頭が採集された(1984年8月18日)。分布：相模川

243. ウエムラグモの一種 *Gen. sp.*

1984年5月27日採集のオス成体1頭。242と243は新海栄一氏が研究中。分布：相模川

イツツグモ科 ANYPHAENIDAE

244. イツツグモ *Anyphaena pugil* Karsch

針葉樹の葉上や草間を徘徊する。分布：吉沢

アシダカグモ科 HETEROPODIDAE

245. コアシダカグモ *Heteropoda forcipata* (Karsch)

アシダカグモは屋内に多いが，本種は屋外に生息する。分布：土屋・吉沢・金目・岡崎・南原・高麗山・湘南平

246. アシダカグモ *H. venatoria* (Linne)

屋内に普通に生息。全域に見られると思われるが，屋内調査をほとんどしなかったため，標本記録は少ない。分布：金目・中原

シボグモ科 CTENIDAE

247. シボグモ *Anagita fauna* Karsch

林内の地表，落葉中を徘徊する。分布：土屋・吉沢・岡崎・豊田・中原・大原・高麗山・湘南平

ワシグモ科 GNAPHOSIDAE

248. トラフワシグモ *Drassodes seraticidens* Schenkel

分布：相模川

249. メキリグモ *Gnaphosa kompirensis* Boes. et Str.

分布：吉沢・公所

250. メキリグモの一種 *G. sp.*

メキリグモに酷似するが外雌器の構造の異なるメス成体1頭を採集(1984年6月24日, 土屋地区), 7月10日までで3個の卵のうを作り, 20頭前後の幼体がふ化した。分布：土屋

251. ヒトオビトンビグモ *Poecilochroa unifascigera* (Boes. et Str.)

分布：金目

252. クロチャケムリグモ *Zelotes asiaticus* (Boes. et Str.)

1984年6月24日採集のメスは7月11日に卵のうを作り, 7頭の子グモが出のうした。

分布：土屋・吉沢・高麗山

253. ケムリグモの一種 *Z. sp.*

クロチャケムリグモに酷似するが, 外雌器が異なるメス成体1頭を採集(1984年6月24日, 土屋地区), 7月9日にクロチャケムリグモより大きな卵のうを作った。8月1日に子グモが16頭, 出のうした。250と253は林俊夫氏が研究中。分布：土屋

参考文献

松本誠治・新海栄一・小野展嗣 1976：学研の図鑑・クモ, 学習研究社

中平 清 1961：高知県のクモ, *Atypus* 23/24.

——— 1979：クモ2種における生活史の訂正, *Atypus* 74.

小田原城内高校生物研究部 1985：クモの拍動, ウラシマグモ・ワシグモの飼育, 観察会報告など, *Kishidaia* 52.

Ono, H. 1984：The Thomisidae of Japan IV. *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 10*(2).

——— 1985：Revision einiger Arten der Familie Thomisidae (Arachnida, Araneae) aus Japan. *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 11*(1).

佐藤伸一・生物研究部 1985：平塚市のクモ分布調査(中間報告), 小田原城内高校図書館紀要 8

Schenkel, E. 1936：Schwedisch-chinische wissenschaftliche Expedition nach den nordwestlichen provinzen Chinas. *Ark. Zool., 29a*.

新海栄一 1969：東京都産真正蜘蛛類, 東亜蜘蛛学会

——— 1970：東京都産真正蜘蛛類(II), *Atypus* 54.

——— 1977：東京都産真正蜘蛛類(III), *Acta arachnol.* 27-sp. No

- 新海栄一 1978：八王子市のクモ，1.リストおよび分布，日本私学教育研究所調査資料56
 ——— 1979：八王子市のクモ，2.生活型と網型について，日本私学教育研究所調査資料64
 ——— 1980：八王子市のクモ，3.特定の環境に生息するクモ類，日本私学教育研究所調査資料72
 ——— 1981：八王子市のクモ 4.特定の環境に生息するクモ類(続)およびリストの追加，
 日本私学教育研究所調査資料81
- 新海栄一・高野伸二 1984：フィールド図鑑クモ．東海大学出版会．
- Tanaka, H. 1985：Discriptions of new species of the Lycosidae(Araneae) from Japan, *Acta arachnol.* 33(2).
- 八木沼健夫 1968：原色日本蜘蛛類大図鑑(増補改訂版)，保育社
 ——— 1977：日本産真正蜘蛛類目録(1977年改訂)，*Acta arachnol.* 27-sp No
 ——— 1978：日本産真正蜘蛛類目録 補遺(1)，*Atypus* 71.
 ——— 1980：日本産真正蜘蛛類目録 補遺(2)，*Atypus* 76.
 ——— 1981：日本産真正蜘蛛類目録 補遺(3)，*Atypus* 78.
 ——— 1982：日本産真正蜘蛛類目録 補遺(4)，*Atypus* 80.
 ——— 1984：最近のクモニュース，*Atypus* 84.

【付記】

本稿脱稿後，八木沼健夫著『原色日本クモ類図鑑』(保育社)が刊行された。その中で多くのクモの学名が変更または整理されている。参考までに本稿のリスト中で変更されているクモの番号と和名を列記しておく。

23.オナガグモ，38.ハラナガヒシガタグモ，45.ヒメグモ，46.コンピラヒメグモ，59.ユノハマサラグモ，70.ニセアカムネグモ，72.ケズネグモ，74.コトガリアカムネグモ，75.セスジアカムネグモ，76.オオサカアカムネグモ，77.トウキョウアカムネグモ，78.チョビヒゲヌカグモ，80.ナンブゴツブグモ，86.ムツボシオニグモ，93.コゲチャオニグモ，99.ヨツボシショウジョウグモ，124.ナルコグモ，132.ヤサガタアシナガグモ，134.シコクアシナガグモ，154.キクヅキコモリグモ，165.ヒノマルコモリグモ，193.キレワハエトリ，200.デーニッツハエトリ。

また，62.キノサラグモは，54.タテヤマテナガグモに，186.エビグモは185.キンイロエビグモに，それぞれ統合された。

また，25.ヤホシサヤヒメグモはヤホシヒメグモに，72.ケズネグモはヤマトケズネグモに，141.ヤチグモはクロヤチグモに，181.シナカニグモはカラカニグモに，和名が変更された。

また，48.キヨヒメグモ，161.ヤマトコモリグモ，184.オビボソカニグモについては，この

図鑑には収録されていない。

文献 八木沼健夫 1986：原色日本クモ類図鑑. 保育社.

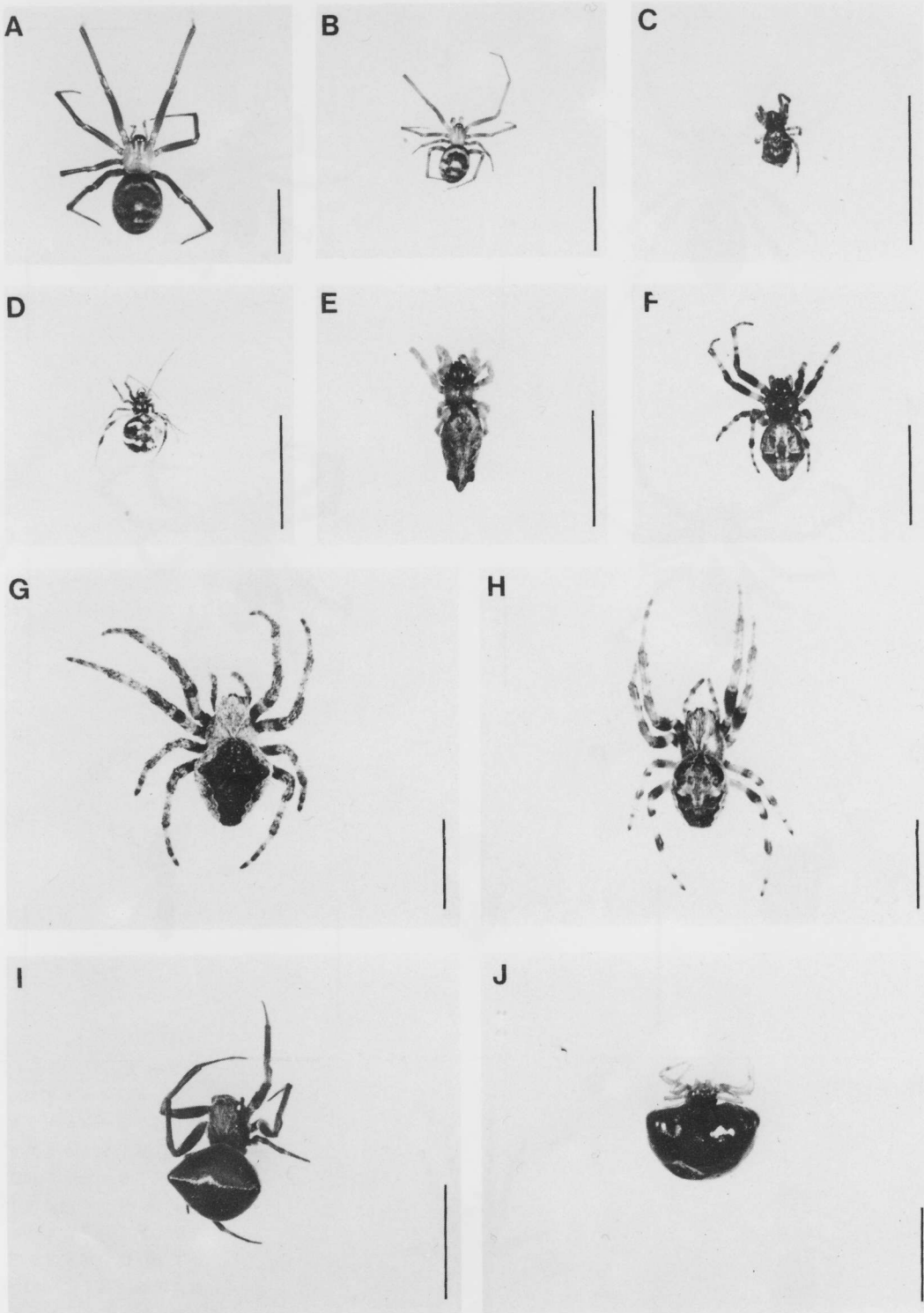


図 2-1. 平塚市の真正クモ類

A: シロホシヒメグモ 雌 B: シロホシヒメグモ 雄 C: ゴマダラヒメグモ幼 D: キヨヒメグモ 雌 E: キジロゴミグモ 雌 F: シマゴミグモ 雌 G: ヤエンオニグモ雌亜成 H: ナカムラオニグモ雌亜成 I: マルヅメオニグモ 雌 J: クロトリノフンダマシ 雌 (スケールは5 mm)

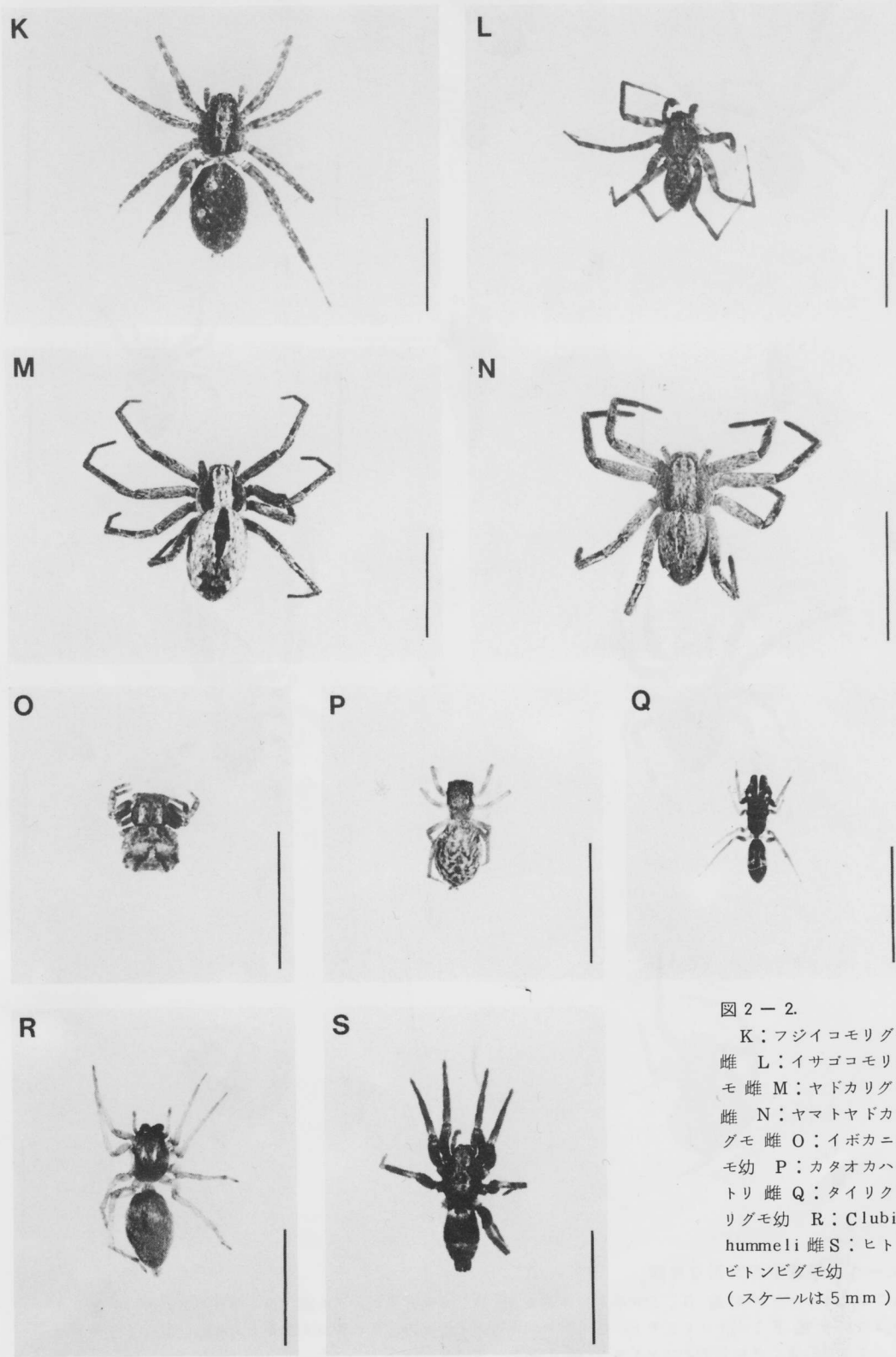


図 2-2.

K: フジイコモリグモ 雌 L: イサゴコモリグモ 雌 M: ヤドカリグモ 雌 N: ヤマトヤドカリグモ 雌 O: イボカニグモ 幼 P: カタオカハエトリ 雌 Q: タイリクアリグモ 幼 R: *Clubiona hummeli* 雌 S: ヒトオビトンビグモ 幼
(スケールは 5 mm)